

日本YWCA被災者支援プロジェクト

目 的

3月11日に起きた東北地方太平洋地震・津波・東京電力福島第一原発事故による被災者、ことに女性や子どもたちのニーズに応え、国内外のYWCAおよび他団体と協力しながら敏速に動くために「日本YWCA被災者支援プロジェクト」を設置しました。

「女性と子どもの安全のために」をキーワードにして中長期支援に取り組みます。

期 間

- 第1期 緊急支援活動 2011年3月まで
第2期 中長期支援活動 2011年4月から2012年3月まで
その後についても、支援状況をみながら継続を検討。

支 援

【第1期 緊急支援活動】

□物資支援

3月中旬～4月中旬、女性と乳児の必需品を中心に支援しました。

□他言語での情報発信

地震直後、滞在する外国人たちへ東京電力福島第一原発事故および放射能に関する情報を英語・タガログ語・ベトナム語で提供しました。

現在は、在日外国人支援を行う多くのグループが他言語情報発信を行っているので、海外に向けた英語での情報発信を行っています。

【第2期 中長期支援活動】

□ボランティアの派遣

4月から8月まで、カウンターパートの仙台キリスト教連合被災者支援ネットワーク「東北ヘルプ」へ事務局ボランティアを派遣しました。

□被災者受け入れのための住居支援

▶セカンドハウスプロジェクト

被災地から安全な場所への避難を希望する方々へ、日本YWCAが移動の交通費・水道光熱費等の必要経費・家賃（家主の方から無償もしくは安価でご提供いただいています。）を負担して、住居を提供しています。

〈対象〉・避難地を必要とする乳幼児をかかえた方、高齢者の方、障がいを持つ方、
外国籍の方

- ・一時休養が必要な被災地で活動する奉仕者・介護者の方
- ・夏休みなど長期休暇中の子どもたち（ホームステイ）
- ・その他緊急を要する方

*8月までの受入れ

札幌・仙台・新潟・東京・横浜・名古屋・神戸・呉・沖縄YWCA

▶夏のリフレッシュプログラム

夏休みに被災地の親子や子どもを地域YWCAが企画するキャンプ等に招きました。

- * 「北の大地ですごす夏休み～みどりの風に吹かれてみようよ～」
札幌YWCA 8月2日～11日
- * 「新地っ子の夏休み」
東京YWCA 8月19日～23日
- * 「教育部書道教室夏季プログラム」
福島YWCA 7月30日
- * 「ひと夏のマイセカンドハウスプログラム in 京都」
京都YWCA 7月29日～8月12日
- * 「夏キャンプ送迎プログラム」
大阪YWCA 8月5日～10日
- * 「神戸YMCA & 神戸YWCA共同企画 夏のわいわいキャンプ」
神戸YWCA 8月11日～14日
- * 「ママと行く九州のんびりキャンプ」
福岡YWCA 8月22日～8月24日
- * 「ひろしまを考える旅 2011」
日本YWCA 8月8日～10日
- * 「日韓ユース・カンファレンス」
日本YWCA 8月29日～9月1日



□こころのケア活動

▶4月上旬から中旬

- *被災者の方々への聞き取り調査を実施
- *児童館、産直グループ、教育委員会、子育てサロン、社会福祉協議会、被災者支援を行っているNPO、NGO等女性たちとのネットワークづくり

▶4月下旬～

- *被災者の方々へのこころの癒しや相談、情報提供
- *被災者受け入れ地域にて、ボランティア養成講座を実施
- *ボランティア養成講座修了生とともにケアサロンの開設や仮設住宅を訪問
- *福島のお母さんたちへのケア講座およびサロン開催
「福島原発と健康被害」「傾聴学習会」など
- *こころの癒し講座
- *弘前笑顔プロジェクトのバスツアー参加者フォローアップ
- *仮設住宅訪問活動のための見学や相談
- *仮設住宅での活動をするボランティアグループや団体への研修
- *からだどこころのケア・ボランティア講座
- *宮城野区民生委員児童委員への研修と相談
- *利府町児童館職員研修会 震災後のスタッフと子どものこころのケア
- *堺市社会福祉協議会&ボランティア連絡会研修会「堺で被災者をどう見守れるか？」

□福島県新地町での「災害ボランティアセンター」活動支援

▶「新地町災害ボランティアセンター」の運営協力

